

龍谷大学矯正・保護総合センター

第1回 矯正・保護ネットワーク講演会

2011年**12**月**4**日(日)

13:30～(開場**12:30**)

龍谷大学アバンティ響都ホール

(京都市南区東九条西山王町31 アバンティ9階)

主催:龍谷大学 矯正・保護総合センター

プログラム

総合司会：赤池 一将 氏
(龍谷大学法学部・教授)

12：30～ 開 場・受付開始

13：30～ 開 演

センター長挨拶
加藤 博史 氏

(龍谷大学矯正・保護総合センター長)

第 1 部 ≡ 特別講演 ≡

13：40～14：40

講演者 **山口 良治 氏**

(京都市立伏見工業高校ラグビー部総監督)

テーマ 『私が学んだ人間教育』

第 2 部 ≡ 講 演 ≡

14：50～15：20

講演者 **宮内 利正 氏**

(大阪府保護司会連合会理事・事務局長

龍谷大学客員教授)

テーマ 『保護司の現状について』

情報交換

15：20～15：40

センター長挨拶

龍谷大学 矯正・保護総合センター
センター長 加藤 博史

——保護司がひらく ‘人間の誇りの回復’ ——

保護司のみなさまは、罪を犯し非行におちいった人たちの心をつなぎ、希望のあかりを自らが見いだすための働きかけに取り組んでこられました。それは大変尊い活動です。その意義をもっと市民に広く発信していく必要があります。矯正・保護のテーマに関しても市民参加の時代だからです。

また、今日、犯罪や非行の背景は、心理的・社会的・文化的に複雑になり、発達障害やパーソナリティ障害など新しい知見が求められ、人としての尊厳の回復の視点と福祉サービスの活用の視点が一層重要になってきました。学際的で総合的な学びが欠かせません。今回の集いはこの要請に応え、関係者の結びの場を創っていかうとするものです。

さいわい、その第一回目の集いに、山口良治先生をお招きすることが出来ました。山口先生は、全身全霊で一人ひとりの生徒の心を受けとめ、『「おれにかまうな」は、「おれをなんとかしてくれ」という心の叫びだ』、『子どもはおとなの本心を即座に見抜く』、『「べき・べし」を子どもに押しつけるな』、『おとなは自分にベクトルを向けなければならない』、『「不」を払拭し、信じてまかせること』、『素直になれる出会いを用意するのは、大人の責務』と熱く語ってくださいます。そして、宮内利正先生が豊富な経験から保護司の立ち位置を示してくださいます。みなさまと共に、保護司がひらく‘人間の誇りの回復’のあり方を確かめ合いたいものです。

実行委員長挨拶

矯正・保護ネットワーク講演会実行委員会
委員長 赤池 一将

龍谷大学は、戦前から今日に至る浄土真宗本願寺派による教誨師活動の伝統を基盤に、1977年には矯正・保護に特化した教育プログラムとして「矯正・保護課程」を設置し、刑務官、法務教官、保護観察官等の実務家ほか、篤志面接員や保護司などの多くのボランティアの養成に努める一方、2001年に「矯正・保護研究センター」を設置し、矯正・保護の実務的課題への学術的検討を推進してまいりました。

昨年開設した当矯正・保護総合センターは、この「矯正・保護課程」と「研究センター」が担ってきた教育活動と研究活動を有機的に連関させるだけでなく、これを基礎に、矯正・保護実務家、関連行政機関、種々の民間団体、矯正・保護に携わる企業家、法律家、地域の方々等、この問題領域に深い関心をもつ多様な人々に、それぞれの問題意識と相互理解を深めるための議論と研修の場（「矯正・保護ネットワーク」）を組織・提供する事業を進めております。何とぞ、ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

矯正・保護ネットワークの主催による今回の第1回講演会は、近年、その重要性が再認識され、その機能の強化とともに制度全般に及ぶ改革が進められている更生保護事業の課題を念頭に、広く、種々の困難を抱える人間に正面から、そして、深く関わることの意義について考えてみたいと思います。

やまぐち よしはる

山口 良治 氏

京都市立伏見工業高等学校ラグビー部総監督

京都アクアリーナ館長／環太平洋大学 体育学部教授・学監

福井県美浜町ハートフル大使



1943年2月、福井県三方郡に生まれる。高校時代にラグビーを始め、日本体育大学へ進学。選手時代は、1967年に日本代表チーム入りし、日本代表のフランカー、名キッカーとして活躍された。1975年から伏見工業高校ラグビー部監督に、1998年、現在の総監督に就任されている。伏見工業高校ラグビー部監督就任当時、0-112で花園高校に大敗したが5年後には55-0で破り、高校ラグビー日本一へと導いた。全国的には無名であったチームを全国トップまでに育てあげた実績や、情に熱い指導者として多くの反響を呼び、テレビドラマ『スクール・ウォーズ』の主人公、滝沢賢治のモデルにもなった。ラグビー日本代表監督を務めた平尾誠二氏や、元日本代表の大八木淳史氏らが教え子に在る。

現在、日本ラグビー協会評議員、環太平洋大学体育学部教授などを務められている。

◆主な職歴

1965年	岐阜県立長良高等学校教諭	1998年	京都市文化市民局 市民スポーツ振興室 部長
1966年	岐阜県立岐阜工業高等学校教諭	2001年	京都市スポーツ政策監
1967年	京都市教育委員会	2003年	京都市スポーツ政策顧問
1974年	京都市立伏見工業高等学校教諭	2005年	浜松大学健康プロデュース学部教授
		2007年	環太平洋大学 体育学部教授・学監

◆主な役職歴 日本ラグビー協会評議員（現在）

京都市立高等学校保健体育研究会会長／京都府高等学校体育指導者連盟理事長／日本ラグビー協会強化委員
日本ラグビー協会コーチ養成委員／関西ラグビー協会コーチ養成委員会副委員長／京都府ラグビー協会理事
京都府・市体育協会理事・京都府スポーツ振興審議委員 等を歴任

◆主な競技歴

高等学校時代からラグビーを始め、長年にわたり日本代表のFW（フランカー）名キッカーとして活躍した<キャップ13>

1965・66・69・70・71・72年全日本ベストフIFティーン
1968年 日本代表としてアジア大会優勝（於：バンコク）
1972年 日本代表としてアジア大会優勝（於：香港）

◆主な指導歴

1975年から伏見工業高等学校のラグビー部監督となり、就任当時0-112で花園高等学校に大敗した弱小チームを5年後55-0で破り、全国大会出場2回目で高校ラグビー日本一に導いた

1980年	栃木国体 優勝	1993年	第72回全国高校ラグビー大会 優勝
1981年	高校日本代表チームの監督としてオーストラリアに遠征 第60回全国高校ラグビー大会 優勝	2001年	第80回全国高校ラグビー大会 優勝
1988年	沖縄国体 優勝	2006年	第85回全国高校ラグビー大会 優勝
1989年	北海道国体 優勝	2007年	第8回全国高校選抜ラグビー大会 優勝

◆主な受賞歴 ※はチーム賞

日本スポーツ賞※（1972年）	ビッグスポーツ賞（1971年、1981年）
関西スポーツ賞（1980年）	京都府スポーツ賞※（1981年、1994年）
京都市スポーツ名誉賞※（1993年、1998年、2007年）	京都市教育功労賞（2005年）
内藤寿七郎国際育児希望大賞（2005年）	他 多数受賞

◆主な著書

「俺がやらねば誰がやる」（講談社）「信は力なり」（旬報社）
「17才を語る」（財団法人青少年交流振興協会）「夢を活かす!」（講談社）
「気づかせて動かす」（PHP 研究所）「熱き思いが壁を破る」（PHP 研究所）
「生きる力を伝えたい」（幻冬舎）
NHK「プロジェクトX〜挑戦者たち〜」
ツッパリ生徒と泣き虫先生〜伏見工業ラグビー部・日本一への挑戦〜に取り上げられる（2000年11月21日放送）
「スクールウォーズ」ドラマ化（1984年10月〜1985年4月）「スクールウォーズ」映画化（2004年9月）

みやうち としまさ

宮内 利正 氏

大阪府保護司会連合会理事・事務局長
更生保護法人大阪府更生保護協会専務理事・事務局長
龍谷大学法学部客員教授



1941年12月、鳥取県倉吉市に生まれる。関西大学法学部在学中、大阪保護観察所に採用される。その後、法務省保護局調査連絡係施設課長、和歌山保護観察所長、大阪保護観察所次長、広島保護観察所長を歴任された後、中国地方保護委員会事務局長、近畿地方・北海道地方・中国地方の更生保護委員会第二部長委員を務められ、2005年に退職される。退職後、更生保護法人泉州寮施設長を務められ、現在、更生保護法人大阪府更生保護協会専務理事・事務局長、大阪府保護司会連合会理事・事務局長として活躍されている。

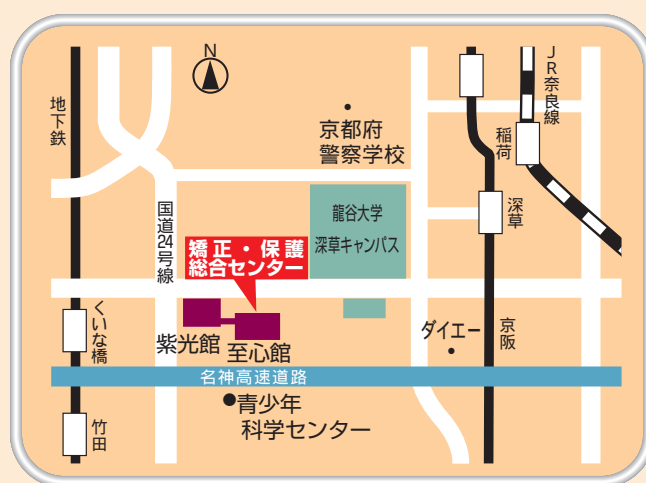
また、2005年から本学の特別研修講座「矯正・保護課程」科目『更生保護概論』の講師を担当され、2011年4月、本学法学部客員教授に任用されている。

◆主な経歴

- 1965年 大阪保護観察所採用（関西大学法学部在学中）
- 1966年 関西大学法学部卒業
- 1978年 法務省保護局調査連絡係施設課長
- 1990年 和歌山保護観察所長
- 1992年 大阪保護観察所次長
- 1995年 広島保護観察所長
- 1998年 中国地方更生保護委員会事務局長
- 2000年 近畿地方更生保護委員会委員
- 2002年 北海道地方更生保護委員会第二部長委員
- 2004年 中国地方更生保護委員会第二部長委員
- 2005年 更生保護法人泉州寮施設長
龍谷大学特別研修講座『矯正・保護課程』講師に任用
- 2011年 龍谷大学法学部客員教授に任用

◆主な著書

- 1977年 『直接処遇班研究報告』（第2集）（共著、法務省保護局）
「スーパービジョンの実施について」
- 1978年 研究誌『更生保護と犯罪予防』第50号（共著、日本更生保護協会）
研究「保護観察官の直接処遇の実際」
- 1980年 『更生保護』11月号（共著、法務省保護局編）
「保護観察と更生保護会～更生保護会の活用を中心に～」
- 1988年 『更生保護』5月号（共著、法務省保護局編）
「保護司会を考える（9） 更生保護婦人会との連携・協力」
- 2007年 研究誌『更生保護と犯罪予防』第148号（共著、日本更生保護協会）
研究「泉州寮における少年処遇～ワークキャンプの取組を中心に」
- 2009年 『矯正講座』第29号（共著、龍谷大学矯正・保護課程委員会編）
「2007共同研究・施設参観報告／大谷染香苑参観記」
- 2010年 『矯正講座』第30号（共著、龍谷大学矯正・保護課程委員会編）
「2008共同研究・施設参観報告／更生保護施設「徳島自立会」参観記」
「2009共同研究・施設参観報告／更生保護施設「福正会」参観記」



龍谷大学 矯正・保護総合センター

Ryukoku Corrections and Rehabilitation Center (RCRC)

住所 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

至心館1階 矯正・保護総合センター

電話 075-645-2040 (直通)

FAX 075-645-2632 (直通)

E-mail kyosei-hogo@ad.ryukoku.ac.jp

ホームページ <http://rcrc.ryukoku.ac.jp>